

2015 PAS(Pediatric Academic Societies) meeting に参加しました

メディカルサポートセンター（石塚、山本、目澤）

アメリカ、サンディエゴで行われた 2015 PAS (Pediatric Academic Societies) meeting に 2015 年 4 月 25 日から 28 日まで参加しました。

PAS はアメリカ小児科学会が主催する、小児科の各領域の専門家が横断的に参加する学会です。毎年、7000 人以上の小児科医が参加し、800 近いセッションがされる大きな総会でもあります。エコチル調査は、諸外国と国際的な連携を行っており、エコチル調査を含む ECHIBCG (Environment and Child Health International Birth Cohort Group : 大規模出生コホート調査に関する国際作業グループ) が中心となり「何が小児の健康と発達の環境に影響を与えるのか」と題しセッションを行ってまいりました。セッションでは、フランス、中国、日本、アメリカの発表者が一同に介し、多くの参加者にお集まりいただきました。

“小児の環境と健康”に関する発表は PAS 全体の中では 5%程度と少なかったですが、強い興味を抱いているアメリカの先生方が多く参加しており、この領域が小児医療に期待されていることを肌で感じることができました。今後も多くの先生方にご理解とご協力をいただきながら、エコチル調査が小児医療の羅針盤として生かされるよう推進していくことの重要性を感じました。



↑ 座長：国立環境研究所
(コアセンター) 中山先生



↓ 左より MSC 目澤、コアセンター中山先生、MSC 石塚、山本

